

小さくても
キラリと光るまち

標津

SHIBETSU

2007. 11

広報しべつ

vol.489



日本一の秋サケを使った料理が全国に紹介

NHK教育テレビの長寿番組「きょうの料理」全国キャラバンの公開収録が10月11日、標津漁業協同組合大会場で行われました。同テレビは、「きょうの料理」放送50周年を記念し「地域の味をあなたの町から」と題して全国12カ所を回り、採れたての旬の食材を使った地域の自慢の味を伝えるイベント番組を企画。北海道からは本町が誇る日本一の秋サケが選ばれ、地元の食材にこだわった我が家の自慢料理を森岡繁子さんがイクラ入りの「チャンチャン焼き」、大桃好子さんがサケと牛乳を使った「サケチャウダー」、武田良子さんが「スモークサーモンサラダ」を紹介しました。この日は3人による「秋サケで勝負コンテスト」が行われ、グランプリに輝いた武田さんは「簡単なのでぜひ作ってください」と全国の視聴者に呼びかけていました。また、料理研究家の藤雅世さん自らが料理の腕前をふるい、トマバタ醤油風味やポテトグラタンなど秋サケのオリジナルレシピを紹介する収録も行われ、本町の秋サケを使った料理番組が全国の消費者へ向け10月24日、25日に放送されました。

主な記事

- ◆「日本で最も美しい村」
連合に加盟

標津町が

「日本で最も美しい村」連合に加盟

農山村の景観や環境・文化を守り地域の素晴らしい資源を最大限活用し、地域活性化や自立を目指すため、平成17年10月に全国7町村で設立した、特定非営利活動法人（NPO法人）『日本で最も美しい村』連合』の定期総会が10月4日、長野県大鹿村で開催され、今回新たに標津町と岐阜県下呂市馬瀬（げろしませ）の加盟が承認。全国11市町村で組織されることになりました。

同連合への加盟条件である地域資源として、本町は忠類川のサーモンフィッシング・サーモンパークなど独自のサケ文化のほか、清らかな標津漁港や酪農地帯の美しい景観、ポー川史跡や標津温泉などがあり、地域資源を活かす活動として、国内で唯一となる地域水産業の漁獲から市場、加工、流通が一貫した高度衛生管理システムである「地域ハ

ッツ」を町内水産業関係者約1,300人（人口の21割）が一体となって活動実践していることや、町民による忠類川や漁港の清掃、町エコ・ツーリズム協議会（観光協会、漁協、農協、商工会など19団体）と地域の各分野のシルバー世代を中心とした、地域ボランティアガイド（現在85人、人口の14割）が体験受け入れを行うエコ・ツーリズム事業など地域ぐるみの活動が高く評価され、厳しい審査を経て加盟が承認されたものです。

同総会で「日本で最も美しい村」連合会長である浜田会長（美瑛町長）から金澤町長へ認定書が交付され、金澤町長は「これを励みに、より高いまちづくりの弾みにします」と宣言しました。本町には、海・山・川・大平原があり、また、生活の営みにより作られてきた

美しい景観や環境があります。住民の皆さんとの協働により、まちの知名度アップや一般観光客の増加、地域ブランドの価値向上など「住民の誇り」から「経済効果」までを高める活動を推進し「小さくても輝くオンラインワンを持つ農山村」が自らの町や村に誇りを持って自立し、将来にわたって美しい地域であり続けるために、この景観や環境を守り育て後世へ伝えましょう。



浜田会長から認定書を受ける金澤町長

知床連山を背景に、ごみの無い美しい忠類川でのサケ釣り



the most beautiful villages in japan

上の統一ロゴマークには、人々の生活の営みと自然が融合した「美しい村」の景観という意味が込められています。

NPO法人「日本で最も美しい村」連合とは

近年、日本では市町村合併が進み、小さくても素晴らしい地域資源を持つ村の存続や美しい景観の保護などが難しくなっています。

「日本で最も美しい村」連合は、フランスの素朴な美しい村を厳選し紹介する「フランスで最も美しい村」活動に範をとり、失ったら二度と取り戻せない日本の農山村の景観・文化を守る活動をはじめました。

具体的には、「日本で最も美しい村」のシンボルマークを、日本のみならず世界的にも観光地や文化地域としての目印にするのが目標です。フ

ランスでは既にガイドブックや地図に載るほど有名な活動に成長しています。

自然と人間の営みが長い年月をかけてつくりあげた小さな、本当に美しい日本は、いまならまだ各地に残されています。

それらを慈しみ、楽しみ、そして、しっかりと未来に残すために、自らの地域を愛する皆さんにご協力いただきながら、平成17年10月に7つの村からスタートしました。

「世界で最も美しい村」の世界各国での取り組みについては、フランスやイタリア、ベルギー、カナダなど世界中で小さな農山村地域の活性化活動がさかんです。

既存のガイドブックにはな

い美しい世界の村々が、自らの手で地域を活性化し、観光を中心に新たに注目されるきっかけをつかんでおり、国際的な組織へと発展しています。

連合の活動は

①「日本で最も美しい村」の名称の使用権の管理に関すること。

②この連合に加入した自治体の自立・発展のために、相互の経験や研究を共有しあう場所を提供すること。

③「日本で最も美しい村」の計画的な保全を行い、経済的価値を高め、社会的発展を促すこと。

④地域の魅力を発信し、交流人口の増加による地域経済の発展を推進すること。

⑤町や村の現状について多くの国民に理解を求め、また、その地域ならではの景観や財産を後世に引き継ぐ必要性についての世論を高めるための広報活動を行うこと。

連合への加盟資格は

- ①直近の国勢調査の人口が、概ね1万人以下であること。
- ②人口密度が1平方キロメー

トルにつき50人以下であること。

③次に定める地域資源が2つ以上あること。

ア 景観：生活の営みにより作られた景観
イ 環境：豊かな自然や自然を活かした町や村の環境

ウ 文化：昔ながらの祭りや郷土文化、建築物など

④その他、地域資源を活かす活動を連合が評価し決定

・美しい景観に配慮したまちづくりを行っている。
・住民による工夫した地域活動を行っているなど。

(同法人発行パンフレットより抜粋)

詳しくは、<http://www.utsukushiimura.jp>

「日本で最も美しい村」加盟11市町村



町行財政改革検討委員会から
最終報告書が町長へ渡される

本町は、平成16年6月の住民投票で自立する道を選択し、厳しい財政環境の中で、自立に向けた町政を運営するために必要な行財政改革の実施に関して、町民から意見を求める「標津町行財政改革検討委員会」を平成17年9月に設置しました。同委員会委員の任期が平成19年9月30日に満了を迎えるにあたり9月26日、町生涯学習センターあすばるで最後の委員会が開かれ、これまでの2年間の活動状況などをまとめた報告書が村上委員長から金澤町長へ渡されました。

同委員会は、平成17年12月に「人件費」や「町役場の組織・機構及び事務費」、「町民サービス」、「財源確保」に関する4つの改革を25項目にわたる提言をまとめ、その後「ふるさと新生プラン」や「公共料金の改定」、「新ふるさとづくり推進事業補助金の審査」に関する意見交換を行ってきました。

金澤町長は「行財政改革検討委員会に対する評価が高まり非常に存在感が高いものになっている。町も財政や地方分権などさまざま



まな問題を抱えている中、同委員会の提言は価値が大きく、今後もぜひ継続していきたい」と挨拶。同委員会の村上委員長は「皆さんのお力添えで無事に役目を果たすことができました。今回で当委員会は解散しますが、これからも何らかの形で関わって行くことが使命だと思います」と町民との協働による行財政改革の必要性を述べました。

その後、金澤町長が「今後の行政執行に役立てたい」と同委員会の最終報告書を受け取りました。委員の皆さんからは、2年間の

委員活動を振り返って「細やかな資料の提示・説明により本町の行財政の状況を詳しく知ることができた」、「これまで行財政改革に関して町民の声を反映させる場が少なかつたが、本委員会により町民の声を行政に届けることができた」、「各委員の協力の結果、さまざまな提言を行うことができた」などの感想や今後も改革を検討してほしい事項などが寄せられました。

町では、平成13年の「行財政構造改革宣言」以来、6年間で7億1,403万円の削減効果を得ていますが、ふるさと新生に向けて、今後も町民の皆さんと一体となった行財政改革を推進してまいります。

2年間活動された
行財政改革検討委員会委員の方々

(委員長)	村上 英之	(委員長代理)	南 憲治
(委員)	大西 由美子	小野 淑子	小野 修子
	栗原 智彦	郷 野 修	郷 野 芳子
	谷内 和夫	樽 芳 裕	樽 芳 裕子
	西山 和子	林 裕 留	林 裕 留子
	本間 末次	本 間 留	本 間 留子
	森 同 繁子		

—敬称略—

(平成19年9月26日現在)

『第2次行革委員会』
委員を募集します

標津町が主体的な町政を運営するために必要とされている、スリムかつ効率的で透明性のある行財政システムを町民の皆さんと協働で構築することを目的に、第2次行革委員会を設置することとしました。積極的なご応募をお待ちしています。

【主な検討事項】
「行政運営の改革」「財政健全化の推進」
「新ふるさとづくり推進事業補助金の審査」
「事業評価」「ふるさと新生プランの進行管理」など

- 応募資格 18歳以上の町民の方
- 募集人員 委員10人程度のうち半数
- 会議回数 月1回程度
- 委員期間 委嘱の日から1年間
- 募集期限 平成19年11月9日(金)まで
- 応募及びお問い合わせ先 標津町役場 82-2131
企画政策課 山崎 (内線117)、吉田 (内線118) まで。

町地域新エネルギービジョン策定委員会が発足

町では、地域特性や資源を活かした環境に優しい新エネルギーの導入と利用促進を図るため、町地域新エネルギービジョンを策定することとし「標津町地域新エネルギービジョン策定委員会」を発足。

9月14日、町生涯学習センターあすばるで第1回策定委員会を開催しました。

回委員長には、東京農業大学産業経営学科長の田中俊次教授が選任され、町内の産業関係者や住民代表者など12人を金澤町長が委員に委嘱。

オプザーバーとして独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構エネルギー



対策推進部の秋山愛子主査の同席をいただきました。

同委員会は、それぞれの委員の立場から環境にやさしい自然エネルギーの活用策などの意見をいただきながらビジョン策定案の審議を行うもので、過去の地熱調査で得たデータやノウハウを活かして、環境負荷が少なく地域で供給できる新エネルギーの導入に向けたビジョン策定を行っています。

既に町民意識調査などにご協力をいただいている方もいますが、今後は、エネルギー使用実態や新エネルギーの賦存量

などを調査し全体ビジョンの策定作業を行ってまいります。

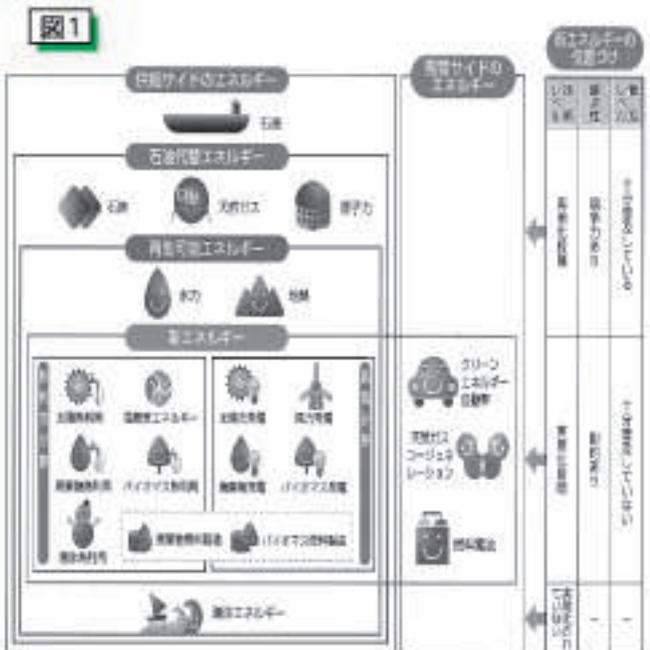
地域新エネルギービジョン策定後に

期待される効果

本町における有望な熱源を有する地熱のほか、太陽光やバイオマスなどの地域に存在する新エネルギー資源に対する資源評価と導入計画などの事業化に向けた指標を示すことにより、利用可能な新エネルギーの絞り込みが進められ、本ビジョンの成果として、これら新エネルギー利用事業の可能性を明確化することにつながり、国の関係省庁などから今後の推進にあたっての関連する補助支援が有力となり、結果として具体的な事業化の推進が期待されることとなります。

新エネルギーは、自然の力を利用したり、今まで使われずに捨てていたエネルギーを有効に利用するもので、石油への代替や二酸化炭素の排出量を減らすことができるなど、実用化段階に達しつつあるが、普及が十分でないものとされています。(図1参照)

標津町地域新エネルギービジョン策定委員会委員				
役職	区分	氏名	所属・役職	住所
委員長	大学教授	田中 俊次	東京農業大学生物産業学部産業経営学科教授(オホーツクキャンパス)	網走市
委員	北海道	森川 雅代	北海道根室支庁産業振興部商工労働観光課長	根室市
委員	産業団体	梅木 正己	標津漁業協同組合専務理事	北7西1
委員	産業団体	佐藤 強	標津町農業協同組合参事	字川北
委員	産業団体	出口 亮	標津町商工会理事	南4東1
委員	教育関係者	渡内 幸司	標津町校長会事務局長	字古多輪
委員	女性団体	徳橋 廣子	標津町女性団体連絡協議会長	字茶志骨
委員	研究団体	石橋 昌幸	標津町産業クラスター創造研究会代表	南2西1
委員	企業代表	合田 泰之	合田商店	字川北
委員	住民代表	川畑喜美子	標津町ガイド協議会長	南3西1
委員	関係機関	長能 潔	北海道電力株式会社 中標津営業所長	中標津町
委員	関係機関	品田 正一	石油資源開発株式会社 新技術事業推進室担当次長	東京都



※賦存量とは、エネルギーに特化した用語で「使えるものが、どのくらいあるか」という意味で使用されます。

祝100歳！ おめでとー(ご)さいます

今年、健やかに満100歳を迎えた小笠原まつさん（明治40年11月7日生）に内閣総理大臣から祝状と記念品の銀杯が贈られました。

9月15日（老人の日）、小笠原さんが入苑している特別養護老人ホームはまなす苑で、同苑職員が見守る中、根室支庁の堀保健福祉部長より伝達されました。

祝状を受け取った小笠原さんは「ありがたいものをいただいた。まさかもらえると思わなかった」と喜びをかみしめていました。また、長寿の秘訣はと訪ねると「良く食べて良く寝ることだね」と元氣よく答えてくれました。



お世話になっている 施設に恩返し

標津老人クラブ寿会（三戸俊雄会長）が、全国老人クラブ連合会が提唱する「全国一斉社会奉仕の日」（9月20日）に合わせ、保健福祉センター（ひまわり）周辺の環境美化奉仕活動を行いました。

三戸会長は「体調を崩し奉仕活動に参加できない方もいます。十分健康には気をつけてください」と呼びかけ、この日集まった会員20人が自らの生きがいを高めるため、日頃からお世話になっている同施設の花壇に生えている雑草を取るなど心地よい汗をかいていました。

参加者の坂本栄さんは「体が元氣なうちは続けていきたい」と笑顔で語っていました。



本町で全国初の日本サケつりサミットが開催

平成7年に全国で初めてサケ・マス釣りが実施され、サーモンフィッシング発祥地として名高い忠類川の本町で、「第1回日本サケつりサミット（忠類川）」（同実行委員会主催）が9月22日、町生涯学習センターあすばるで開かれ、全国のサケ釣り河川関係者や水産庁、北海道庁、山形県庁、冒險家の風間深志さんなど30人が集まり全国で初めて行われました。

同実行委員会の鈴木誠会長（標津漁業協同組合長）は「あれから12年が経ちサケが釣れる川は全国11カ所となった今、河川関係者とのネットワークを築きながら、本サミットの継続開催によりサーモンフィッシングの更なる飛躍を進めてまいりたい」と挨拶しました。

同サミットでは、サーモンフィッシングが行われている忠類川、茶路川（白糠町）、浜益川（石狩市）、寒河江川（山形県）、奥入瀬川（青森県）の5河川の関係者が現状と課題を説明、各河川の協力体制や将来に向けての取り組み、本サミットの今後の進め方などについて熱心に意見交換が行われました。



サミット開催日の夜には、同会場の大ホールで「サミット・フェスティバル」が開かれ、午前中のサミット会議の内容や各河川からのPRメッセージを紹介、忠類川を訪れたサケつりファンや町民など89人が和やかな雰囲気で見聞を深めたほか、作家の夢枕獏さん、冒險家の風間深志さん、エッセイストの山村レイ子さんによるトークショーやラッキー抽選会などが行われ、会場内は爆笑の渦に包まれていました。

同サミットでは、サーモンフィッシングが行われている忠類川、茶路川（白糠町）、浜益川（石狩市）、寒河江川（山形県）、奥入瀬川（青森県）の5河川の関係者が現状と課題を説明、各河川の協力体制や将来に向けての取り組み、本サミットの今後の進め方などについて熱心に意見交換が行われました。

同サミットでは、サーモンフィッシングが行われている忠類川、茶路川（白糠町）、浜益川（石狩市）、寒河江川（山形県）、奥入瀬川（青森県）の5河川の関係者が現状と課題を説明、各河川の協力体制や将来に向けての取り組み、本サミットの今後の進め方などについて熱心に意見交換が行われました。



ふるさと給食で 大根の収穫体験

学校給食で使われている地元食材や地場産業に対して理解を深めようと9月26日、標津小学校2年生44人が「ふるさと給食事業」(町教委主催)の一環として、古多畑の遠藤農場(遠藤慎吉社長)で本町が誇る「知床大根」の収穫体験をしました。児童たちは遠藤さんから大根の抜き方の説明を受けた後、長靴と軍手姿で畑に入り自分の気に入った大根を探し、元氣よく引き抜き「抜けたー」「重たい」などと大きな歓声を上げていました。山口華央ちゃんは「大根抜きは楽しかったです。家へ持って帰りお母さんに味噌汁にしてみよう」と笑顔で語っていました。



日本一美しい 漁港を目指して

誰もが安心して憩える漁港を目指すため、標津サケ定置漁業部会(中村憲二会長)が10月1日、秋サケ漁でにぎわいを見せている標津漁港の清掃奉仕作業を行いました。漁港は自分たちの仕事場と部会の会員20人が参加。空き缶や土砂など170kgを収集し、心地よい汗をかいていました。また、サケを荷揚げする場所は、各漁場で徹底した管理を行うなど、良好な漁港環境を維持するための活動が漁業関係者の手で毎年実施されています。中村会長は「やるからには、消費者と向かい合った日本一の美しい港づくりを目指したい」と熱く語っていました。



町長を囲み 和やかに懇談会

J A女性部の歴代部長や副部長で構成するもみじ会(伊藤一枝会長)と金澤町長との懇談会が10月2日、保健福祉センター1ひまわりで開かれ、同会の会員10人が参加する中、和やかな雰囲気で行われました。同会は、町長が出向き気軽に対話をしながら説明や質問に答える「まちづくり出前講座」を利用したもので、参加者は、町の福祉などの現状説明と循環福祉バスの利用や町村合併などの質問に対する金澤町長の話しを熱心に聞き入っていました。伊藤会長は「忙しい中、町長さんから貴重なお話しをいただき感謝しています」と語っていました。



サケが戻ってくる環境 保全への協力に感謝

今年も(17年目)、町民に旬の味覚を楽しんでもらおうと標津サケ定置漁業部会(中村憲二会長)が10月8日、町内全2,245戸に秋サケの無料配布を行いました。町内会の役員が、市場で朝捕れたばかりのオスの秋サケをトラックに積み、公園や広場で町内会ごとに各戸1匹ずつを手渡しました。中村会長は「今年も、立派な成魚となつて『母なる標津』に戻ってこられるのも、町民の皆さんの手によって、山・川・海の豊かな環境が守られているおかげです」と無料配布のサケと一緒に感謝の言葉を添え、今後一層の支援と協力を呼びかけました。



古多糖地区入植から100年を迎え地域住民が盛大に祝う

祝 古多糖開基100年記念式典



古多糖に入植した開拓者によって発展した歴史を後世に伝え、輝かしい未来を築くために、古多糖開基100年記念式典が10月6日、古多糖コミュニティセンター記念碑前で開かれ、小学生からお年寄りまでの地域住民や関係者など約200人が大きな節目を盛大に祝いました。

同地域への入植は、明治40年、現在の新古多糖南5線8番地に札幌琴似町から大橋兵治氏が28歳の若さで入植したのが始まりとされ、その後、大正2年に新潟から藤巻一治氏を団長とする8戸に続き翌年には、秋田から沢田末吉氏を団長とする4戸がそれぞれ入植し集落の礎を築きました。

度重なる冷害による凶作や洪水害など厳しい自然の猛威と闘いながら農業地帯として発展をとり、昭和30年代後半には住民が800人を超え地域を支えました。

式典では、黙祷の後、大迫誠一実行委員長

が入植当時の歴史を振り返りながら「この地、この土に生きる意思を強くし歩み続けることが地域に課せられた

使命です。幾多の困難な時代を乗り越えた先人の偉業を讃え敬意を表し、生涯忘れることなく、郷土の発展に邁進し続けまます」と力強い式辞に引き続き、地域の発展に貢献した、入植者5人や歴代連合町内会長4人、公職を歴任された方8人、特別に功労が顕著な方2人に感謝状が本人のほか、お孫さんや親戚の方を通じて贈呈されました。

来賓を代表して金澤町長が「先人、先達各位の暮い所業を偲び、古多糖地区を今日の隆盛に導かれた皆様の苦勞に改めて深甚なる感謝と敬意を捧げます」と祝辞を述べました。

その後、記念事業の一環としてつくられた記念碑が地域住民の子どもからお年寄りの代表10人によってテープカットされ「開拓の碑」を披露。碑文には、この碑を建設した由来や平成19年3月現在の地域住民262人の名前が刻み込まれています。

古多糖小中学校体育館で行われた祝賀会では、同校小学生による昔の遊びの披露に続き、中学生が調べた昔の地域のようなスクリーンで発表されるなど、地域住民の方々は記念すべき100年の歴史を懐かしむとともに、今後の更なる発展を願う盛会のうちに行なわれました。



感謝状を受ける故大橋兵治氏のお孫さん



記念碑のテープカットの様子



祝賀会の様子



小松アナイちゃん
(健治)



管原 知廣くん
(健治)



所澤 大輝くん
(正明)



石井 就士くん
(孝行)



竹田 来生くん
(忍)

キ・ラ・リ
ちびっこひろば
Vol.9

1歳6カ月健診

8月27日、保健福祉センターひまわりで撮影。()は保護者

このコーナーは、2カ月に1回「ひまわり」で実施している1歳6カ月健診を受診したお子さんを保護者の方の了承を得て紹介しています。

なお、8月に受診されたお子さんが多かったため受付順番により、先月号と今月号に分けて紹介します。



あこがれといっても、テレビドラマのような絶体絶命のピンチを助けられてあこがれたなんてカッコイイものではなく、ただ銀色の防火服をまといながら、火元に走って人を助けるという仕事が、自分にとつてもすごくカッコイイという小学生みたいな発想がいつの間にかあこがれに変

My Dream vol.68
私・の・夢



池田 賢未 さん
(標津高校3年)

「消防士になること」

私の夢は消防士になることだ。
中学の頃からの夢で、たくさん職業の中からなぜ「消防士」を選択したかというところ、自分は、体力を使う職業が向いていると思うし、高校生である自分がこういうのは恥ずかしいが消防士に「あこがれ」を感じているからだ。

わったというだけだ。
しかし、体力を使う仕事があったらいいか、あこがれがあるだけではなれないのが現実である。なので試験を乗り切る為の知識やハードな現場に耐えられる体力、必要な資格、これらを完璧にすることができれば最高ののだが、世の中には気が遠くなるくらいイバルがあるので、自分は毎

日こつこつ努力するのが一番の近道だと信じていこうと思う。そうして努力してきたものは、どのような結果になっても自分の助けになると思うので、今はただ必死にやろうと思います。

◆ 次回は、川北中学校生徒の「私の夢」を紹介します。

町営定住促進団地の愛称が「美郷団地」に

「町営定住促進団地」の愛称については、当初から団地に住まわれる方に定住される想いの中で、親しみのある愛称を決めていただくこととしていました。

愛称は、分譲決定者全11件から意見を聞いたうえで、町民枠決定者5件による協議により決定することとしました。

町民枠決定者による意見交換を経て、9月27日に開催された第2回目の名称会議で、団地の初代班長となった久村浩一さんが座長となり、決定者の中で主体的に協議がなされ、「住んでいる方、家族、誰にとっても美しい故郷として、

いつまでも守り、創っていく」という想いが込められた「美郷団地」に決定しました。

同団地については、引き続き募集を実施していますので、「美郷団地」に住宅建設をご希望の方は、企画政策課内定住サポートセンター（担当：小川、上田、山田）までお申し込みください。

緑に囲まれた美郷団地



税

建物の取得及び取り壊しの確認をお願いします

町税務課では、現在、本年中に「新築または増築」された建物の評価（家屋評価）と「取り壊した建物」の現地確認を行っています。

すでに確認している建物所有者には、事前に電話で訪問することをお知らせしています。建物（家屋）を所有されている方は、平成19年度固定資産税納税通知書の最後のページに記載されている「課税明細書」をご覧いただき、ご不明な点がございましたら税務課まで連絡ください。

担当者が現地確認に伺います。

※固定資産税は、毎年1月1日現在、所有されている方に納めていただく税金です。年の途中で取得または取り壊しがあった場合、翌年度から納めていただく金額が変わります。

★お問い合わせは、税務課（担当：猪股・浅野）まで。

夜間・休日納税窓口をご利用ください

町では、次のとおり「夜間・休日納税窓口」を開設しています。窓口では、町税（町道民税、固定資産税、軽自動車税）や国民健康保険税、公営住宅料、上下水道料などを納めることができます。

日中、仕事が忙しくなかなか納めることができない方などのご利用をお待ちしています。

開設日時

▷夜間：11月30日(金)
午後6時～午後8時

▷休日：12月2日(日)
午前8時45分～午後5時

納入場所 役場出納室

★お問い合わせは、税務課・福祉課・建設水道課まで。



乳幼児・2歳児健康相談日程

11月30日(金) 会場/ひまわり

●乳幼児 [9時～10時・13時30分～14時30分]

※午前は13ヵ月児 午後は4・7・10ヵ月児対象

●2歳児 [9時～10時]

★お問い合わせは、保健福祉センターひまわり (☎82-1515)まで。

町長の動静

(9月21日～10月20日)

【9月21日】

平成19年第3回標津町議会定例会

【9月22日】

日本サケ釣りサミット

【9月24日】

UIゼンセン同盟北方領土返還要求運動推進カンパ金受領

【9月26日】

行財政改革検討委員会

【9月29日】

第36回全道ママさん卓球大会

【10月1日】

第1回標津川河川整備計画策定委員会、根室北部消防事務組合臨時議会(中標津町)

【10月2日】

JA女性部もみじ会まちづくり出前講座

【10月3日～6日】

「日本で最も美しい村」連合定期総会(長野県大鹿村)

【10月6日】

古多糠開基100年記念式典

【10月11日】

農地・水・環境保全対策懇談

【10月17日】

木の実が成るエリアづくり

【10月18日】

全国都道府県・政令指定都市北方対策主管課長会議

【10月19日】

標津町総合防災訓練

<以上、主なもの>

国民年金は、あなたが主人公です

あなたのための「国民年金」

11月中と翌年2月に「控除証明書」が送付されます

●「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」について

11月中に送付される方

平成19年1月1日～平成19年9月30日までに保険料を納付された方。

翌年2月に送付される方

平成19年10月1日～平成19年12月31日までの間に保険料を納付された方。

年末調整や確定申告する際に控除証明書や領収書が必要となりますので大切に保管してください。

●国民年金保険料収納業務の民間委託について

社会保険庁が実施している保険

料の納付のご案内及び納付の申し出があった場合の収納などを民間業者に委託します。

委託を受けた業者は、守秘義務が課せられていますので、皆さまのご理解をお願いいたします。

委託期間 平成19年10月1日～平成22年9月30日

委託業者 株式会社 トライアイ

●免除申請について

国民年金保険料の免除申請で、若年者納付猶予、全額免除申請を提出し「却下」の通知に接した方は、半額・3/4・1/4の免除申請が再度できます。

不安をなくしましょう。年金記録のチェックを...

お問い合わせは「おんきんダイヤル」へ ☎0570-05-1165
(社会保険事務所専用窓口) ☎0120-857830 (フリーダイヤル)

社会保険事務所相談開設日

日時 11月20日(火) 午後1時～午後5時
21日(水) 午前9時～午前11時30分

場所 中標津経済センター

※ご本人や配偶者の年金記号番号、加入期間などを調べてお出かけください。

★相談・お問い合わせはお気軽に住民課（国民年金担当：杉本）まで。

11月のごみ収集日

一般廃棄物収集区域 (祭日は休みです) (有料)	可燃ごみ	不燃ごみ 粗大ごみ	資源ごみ 空缶・びん・ペット ボトル・トレー・ 新聞・雑誌	資源ごみ 資源物(紙) 資源物(プラスチック) 資源物(ガラス) 資源物(金属)
川北全域・忠類・浜古多摩・黄別・崎無興 古多摩全域・北標津・西北標津	水・土	10日(土) 17日(土)	14日(水) 28日(水)	7日(水) 21日(水)
新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町・伊茶仁	月・木	1日(木) 15日(木) 29日(木)	12日(月) 26日(月)	5日(月) 19日(月)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町 桜木町・住吉町・東浜町・茶志骨	火・金	2日(金) 16日(金) 30日(金)	13日(火) 27日(火)	6日(火) 20日(火)

★粗大ごみの申し込みは、渡辺清掃課 ☎0120-79-3106まで。

スポーツ

☆11月のスポーツ☆

■4日(日)

第23回団長杯オホーツク卓球トーナメント

[9時～総合体育館]

■5日・19日・26日

スポーツ体験教室

[16時～総合体育館]

■7日(水)

第26回バレーボールリーグ戦大会開幕

[19時～総合体育館ほか]

■11日(日)

軽スポーツまつり

[10時～総合体育館]

■16日・21日・28日・30日

ファミリー卓球教室

[19時～総合体育館]

■18日(日)

管内中学選抜バレーボール大会

[9時～総合体育館]

■23日～24日

釧根地区高体連新人戦卓球大会

[9時～総合体育館]

■24日(土)

サタデースポーツ広場

[19時～総合体育館]

■25日(日)

第3回ソフトバレーボール秋季大会

[9時30分～総合体育館]

環境衛生

し尿の汲み取りの申し込みは忘れずに

12月のし尿の汲み取り実施地域は次のとおりです。汲み取りを希望される方は忘れずにお申し込みください。

汲み取り実施地域

標津市街、東浜町、住吉町、茶志骨全域、古多摩全域

申込期限 11月22日(木)

★申し込み・お問い合わせは、渡辺清掃課 ☎0120-79-3106まで。



医師紹介



衛藤大明医師 (外科)

この度、白土一太郎医師の後任として、衛藤大明医師(外科)が着任しました。

期間は11月1日から12月31日までの予定です。

★お問い合わせは、標津病院(☎82-2111)まで。

教育委員の再任



井上辰美さん

9月21日の定例議会において、井上辰美さんが教育委員に再任されました。

任期：平成19年10月9日～平成23年10月8日(4年間)

審査会

ご存知ですか？檢察審査会

交通事故、詐欺、おどしなどの犯罪の被害にあったのに、警察や検察庁に訴えたが、検察官がその事件を起訴してくれない。このような不満をお持ちの方は、檢察審査会へ遠慮なくご相談ください。

費用は無料で、秘密は固く守られます。

★相談・お問い合わせは、釧路檢察審査会事務局(☎0154-41-4171)まで。

サーモン科学館

秋の実習のお知らせ

内 容

- ①サケの採卵実習：シロザケの人工授精作業と産卵行動を観察
- ②産卵行動観察会：忠類川などでシロザケの産卵行動を観察

日 時 (定員各20人)

- ①サケの採卵実習(科学館内)
11月3日(土) 10時～15時
- ②産卵行動観察会(忠類川ほか)
11月4日(日) 10時～15時

申込方法

住所、氏名、年齢、電話番号、希望の実習を記入し、はがき又はファックスでお申し込みください。(科学館窓口でも受け付けます)

★お申し込みは、サーモン科学館(〒086-1631標津町北1条西6丁目1-1) ☎82-1141、FAX82-1112)まで。

戸籍の窓口から

(9月11日～10月10日届出分)

■ご結婚おめでとう

安住 哲人さん・米沢 美保さん(若草町)
角田 啓次さん・小野いくみさん(桜木町)
唐崎 卓馬さん・相田 和代さん(若草町)

■お誕生おめでとう

徳橋 礼丸くん(茶志堂)一 寿・鐘 子
淡津 光ちゃん(双葉町)恵 太・由紀子

■おくやみ申し上げます

宗 形 ミ 工さん(弥栄町) 83歳
徳 永 輝 夫さん(共栄旭町) 75歳
宮 藤 隆さん(栄 町) 51歳
岩 岡 ヒロ子さん(曙 町) 60歳
関 ヨツエさん(弥栄町) 85歳
岡 部 征四郎さん(弥栄町) 64歳

(※ご家族の了承を得て掲載しています。)

寄付・寄贈ありがとうございました

●体育文化振興基金として町に—

・湯浅 清古さん・標津プリマの会
・ふれあいスポーツデー実行委員会
・標津サッカースクールスポーツ少年団
・しべつとどわら太鼓保存会
・標津小学校吹奏楽部育成会

●標津病院に—

・畑中 貞子さん・菊池 吉男さん
・本間 留次さん・佐藤 剛子さん
・島貫 才治さん・今井トシ子さん
・古多糖老人クラブ

●町社会福祉協議会に—

・宗形 正八さん・今井トシ子さん
・徳永 君江さん・狩野 ハルさん
・岩岡 康人さん・岡部 順子さん
・曙町内会・聖友標津支所

●はまなす苑に—

・蛇名 ヒサさん・今野 富二さん
・宗形 正八さん
・関 義一さん(曙町)
・西東 保さん(曙町)
・古多糖老人クラブ
・川北染覚寺慈光仏教婦人会

(※ご本人・団体の了承を得て掲載しています。)

寒い季節になりました。

あたたかい鍋物やお酒の肴に標津の魚介類をぜひどうぞ。用途に合わせて身おろしします。お気軽にご相談ください。

営業時間 朝9:00～夕方5:00まで 日曜日も営業しています。

サーモンパーク サーモンハウス内 **しべついちば**

標津町北1条西6丁目1番2号 TEL/FAX 0153-82-3132



町役場組織・機構の一部変更と人事異動について

平成19年10月1日から町役場の組織・機構の一部が変更になりました。これに伴う人事異動を含めてお知らせいたします。

詳しくは、今月号に折り込んでいる「標津町役場組織機構図」をご覧ください。

★お問い合わせは、総務課（担当：山口・佐々木）まで。

根室税務署からのお知らせ

e-Taxが更に簡単便利に！

平成19年分の所得税の確定申告でe-Taxをご利用される方々は、所得税の額から最高5,000円の控除を受けることができるようになりました。また、給与所得・退職所得等の源泉徴収票等の添付書類が本人等の保存を条件に提出が省略できるなど、更にe-Taxが便利に利用できます。是非、この機会にe-Taxにチャレンジしてください。詳しくは、根室税務署☎(0153)23-3261にお尋ねください。

交通・防災

119番の正しいかけ方

火事の場合

- ①どこで何が燃えているかを伝える。
(目印になる建物などがあれば伝える)
- ②けが人や逃げ遅れた人が居ないかを伝える。
- ③自分の名前、電話番号を伝える。

けが・急病・事故の場合

- ①どこで何が起きたかを伝える。
(目印になる建物などがあれば伝える)
- ②誰が倒れた(けがをした)かを伝える。
- ③詳しい内容を説明する。
- ④急病の場合は持病や通院している病院名など伝える。
- ⑤自分の名前、電話番号を伝える。
この他にも係員が質問する場合がありますので、落ち着いてはっきりと教えてください。
消防車や救急車が近くまで来たら誘導をお願いします。

—標津消防署—

「冬の交通安全運動」の実施

期間

- 11月21日(水)～30日(金)
- ・夕暮れ時の歩行者と自転車乗用中の交通事故防止
 - ・路面状況に応じたスピードダウンとスリップ事故の防止
 - ・後部座席を含むシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 - ・飲酒運転の追放
- 中標津警察署・住民生活課—

労働

**守ろう！確かめよう！
この最低賃金**
～北海道最低賃金～

最低賃金額

654円 (時間額)

効力発効日

平成19年10月19日
※道内で事業を営む使用者及びその事業所で働くすべての労働者(パートタイマー、臨時、アルバイトなど含む)に適用されます。
—釧路労働基準監督署—

☆☆☆ 郷土(標津町)の活性化を 町民の力で ☆☆☆
まちが変わります。変えましょう!

地元で買おう 地元を使おう
地元で食べよう
「地産地消」の心で!!

生き生き標高郷土の標・地域で育てる
標津高校
標高の存続は町民みんなの願い!!

「広報しべつ」広告掲載 大募集!!

地産地消や愛町購買運動の一環として、町内業者などのご利用をお待ちしています。
★詳しくは、総務課(担当：本間・工藤)まで。

♪ 初心者・高齢者・保育士・教職 ♪
小川ようこピア/教室

《生徒募集中》

標津町北4条西3丁目3の2

☎82-3732

年賀ハガキの印刷はお早めに...

ご一報いただければ係員がお伺いします。

標津印刷株式会社

標津町北6条西1丁目1-23

☎82-2304・FAX82-2679

「私と標津町」

「こ」のたび、まちの声を書くことになりました。た「奥谷光行」といいます。

まず初めに、私のことについて語りたいと思います。私は、双葉保育園をはじめ、標津幼稚園・標津小・中・高と進学し、高校卒業後はスタンダードに勤務しています。勤務年数は今年で4年目になります。が、スタンドは接客業（サービス業）なので毎日が勉強になります。集金や検針をして

「こ苦労様」とお客さんに言われるたび嬉しいと思うほか、最近では、満足がいく接客がしたいと思うようになりました。

次に、私が思う標津町について語りたいと思います。標津町は他の町に比べ景色が綺麗で静かでおおかつ、人が温かいのでとてもいい町だと思います。それに、夏に行われる水キラリと冬に行われる雪祭り、祭り好きな私にとって、水キラリや雪祭りという

大きなイベントがある町に住めて（生まれて）良かったなと思います。

今年の水キラリは、仕事の都合で夜しか行けませんでしたが、山車やパレード、ラストの打ち上げ花火を見て「今年も無事、お祭り（水キラリ）が開催されてよかったな。今度は日中にもゆつくり見に行きたいな」と思いました。そして、2月に行われるのが雪祭り。標津と川北で毎年交互に行われている行事です。町民が一体になり熱くなれるイベントだと思います。

最後になりますが、標津町は人が少ない分お互いコミュニティケーションをとったり、団結力が高くなったり、信頼・信用ができる町だと思います。そういう環境というのは、一番大事（大切）だと思います。そのためにも、標津町をよりよくするために、少しでもこの町に貢献が出来るようにしていきたいと思っています。

◆ 次の「まちの声」は野沢隼人（南1西4）です。



奥谷光行さん

(南8西1)

スタンダード石油株式会社勤務

☆標津町民憲章☆

(昭和46年11月3日制定)

- ◇健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
- ◇自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
- ◇たがいに助け合い暖かい社会をつくりましょう。
- ◇心を豊かにし文化を高めましょう。
- ◇子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

編集のまど

▽NHK教育テレビの「さよの料理・全国キャラバン」の公開収録の取材に行きました。放送では見られない画面の外で、たくさんスタッフに変えられながら番組が製作されていることに驚きと感動。NHKアウンサーの後藤繁榮さんのダブルを交えた絶妙なトークが地元の自慢の料理に一味添えるなど、日本一を誇る本町の秋サケを食材とした数々の逸品料理が全国の「さよの料理」ファンの心をガツチリつかんだことでした。

▽10月の人事異動で広報担当を離れることになりました。これまで多くの方々から取材を通して得た財産を、今後に活かしていきたいと思えます。広報は、町民の皆さんからの情報やご意見をいたたき割りあげています。今後も「広報レス」へのご支援とご協力をお願いします。

▽11月号から(行)さんの後任として広報を担当することになりました(区)と申します。町民の皆さまから愛される広報誌づくりを目標と頑張りしますので宜しくお願いします。(区)

12月の運転免許更新時講習会

優良運転者で、更新手続きを終了した方のみ受講できます。

■日時 12月4日(火)13時30分～
■場所 あすばる

★お問い合わせは、住民生活課まで。

町内の交通事故

- ・人身事故 1件 (6)
- ・負傷者 1件 (16)
- ・死亡者 0件 (0)
- ・物損事故 6件 (88)

◇平成19年9月1日～9月30日まで
() は本年の累計

人のうごき

- ・人口 5,950人 (- 5)
- ・男 2,893人 (- 2)
- ・女 3,057人 (- 3)
- ・世帯数 2,364人 (- 1)

◇平成19年10月1日現在
() は前月比